

進路だより

No. 6

尼崎市立立花中学校 68期生
平成27年4月28日 発行

★今のうちからできること、やってほしいことを5つあげておきます。

① 自分を知る

高校進学を目指すにせよ、それ以外を考えるにせよ、大切なのは「自分はどんなことに興味をもっているか」そして、「自分はどういうことに向いているか」この2つを考えることです。人間誰しも興味があることには集中し、努力することができます。そして人には「向き、不向き」があることも事実です。犬が苦手な人が動物に関わる仕事についたら・・・、歌が下手な人が歌手を目指したら・・・、手先が不器用な人が歯医者さんになったら患者さんは・・・。自分の得意なこと、好きなことはいったい何なのか考えましょう。自分で分からなければお家の人や友達に聞くのもいいでしょう。

② どういう進路があるのかを知る

どんな高校があるのか。どういう勉強ができるところなのか。クラブはどんなものがあるのか。費用はどれくらいかかるのか。そういうことを知っておくと、具体的に考えるときに困りません。「この高校に行きたい。」と見つけるのが早ければ早いほど、目標をはっきりして勉強にも力が入ります。情報化の現代、ホームページなどをみるだけでもその高校のイメージを持ちやすいです。(昨年度から第2学区「阪神(芦屋市を除く)地区・丹有地区」と学区が拡大し、受検できる公立高校が多くなりました)

③ 毎日勉強をする習慣を身につける

「1日8時間勉強する!」確かにこれはこれで凄いことです。でも毎日続けることができるでしょうか?受験は100m走ではなくマラソンです。途中でばてて勉強するのをやめてしまっは意味がありません。「短期集中」ではなく、「長期継続」できる学習習慣を身につけましょう。

④ 勉強方法を身につける

受験勉強は中学3年間の内容をしていかななくてはいけません。そのため受験勉強をスタートするにあたり辞書のような分厚い問題集を買う人がいます。しかしそんな問題集をやり切ったという人を過去にほとんど見たことがありません。③で書いた「長期継続」をするためには、薄い問題集を2回、3回くりかえした方が効果的です。知識を身につけるためには、<覚える>→<忘れる>→<思い出す>を繰り返すことです。何度も繰り返すうちに忘れることが少なくなってきました。また、薄くても1冊の問題集をやり切ると「達成感」が生まれ、次のやる気につながります。本屋さんについて「これならできそう」と思える問題集を見つけて下さい(もちろん学校で使用している問題集でもかまいません)。そしてそこに直接書き込むのではなく、専用ノートを作ってそこにやっていきましょう。

⑤ お家の人と進路について話をする

君たちの進路ですから考えるのは君たち自身です。でもお家の方の応援、支援がなければ高校などに行くことはできません。また、お家の方は君たちに「こうなってくれたら」、「こんな人生を歩んでほしい」という想いを持っています。自分の考えを伝え、お家の方の想いを聞く。そんな時間をぜひこの連休中にしてください。